

だれでも幸せになれる教えです!!

# ひかり

2023年

5月

213号



風に  
鳴る  
玉ひかり

大空の  
高き  
矢車

- ◇ 利他の実践をしよう
- ◇ 大活躍の陰に利他がある
- ◇ 世の中は洗面器の水と同じ

宗教法人 真生会

# 利他の心を育もう

『思いやりのある家庭と社会を作ろう！』

## 真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

### ◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

### ◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声かけの実践

### ◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

# 44周年立教祭

3年ぶりのお出迎え！  
ようこそ真生寺へ



会長先生ご夫妻がお出迎え



受付ご奉仕の岐阜婦人部



大阪教会から団体参拝



教団旗旗手を務める  
足立七星さん(新中学生)



会長先生によるご本尊特別胎内仏ご祈祷



先祖報恩総供養読み上げ



教会代表、子供奉獻の儀



教会代表ご詠歌隊



新規教会役員任命式



お祭り広場で懇親昼食会



お楽しみ謝恩抽選会

## 《利他の実践行》

Unicef「つなぐよ子に」

ご支援のお願い！！

- ・ 直接募金  
教会常設「いつでも救援募金箱」
- ・ 振込募金  
三菱UFJ銀行 岐阜支店  
宗教法人真生会 救援基金  
(普通) 0133193



ポリオの予防接種  
(コートジボワール)



## 開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁

ある小売店の社長さんが「たくさんのお客さんがあり有り難いことですが、反面万引きがあつて困ります。これを防止する方法はありません

か」との相談です。世の中は八分の利口はちぶに二分の馬鹿にぶと言つて、二分ぐらゐは製品を作つてもロスが出ます。食事をしても全部が血となり肉となるのではなく、無駄のようですが、排便作業があつて体の健康が保てるのです。同様にお客様全部が万引きではありません。悪い面ばかりを見ず、少額でも買って下さるお客様を喜び、全力を良い面に投入することです。「憎しむ者とは離れることが出来ぬ」の教えの如く「人を悪く見る目を変える」これが万引き防止の方法です。半月後「これからは一人や二人の万引きなんか気にせず、買ってもらえるお客様に全力サービスするようにしましたら、すっかり万引きはなくなつてしまいました」と嬉しいご報告でした。

(1980年、真実に生きる20号より)

# ぶし眞教法話

会長 田中庸仁  
たなか ちゆうねい



## ◇利他の実践をしよう

毎月のようにお伝えしていますが、「利他の心を育もう」は真生会の今年の信仰目標です。戦争や紛争は利他の心（相手の幸せを思う心）が失われ、偏<sup>かたよ</sup>った自利の心（自分の幸せ、自分の利益を求める心）の最悪の結果です。

年々<sup>もうい</sup>猛威を振るう自然災害も、人類が人間だけの快適な生活を求め過ぎ、他の生物や限られた資源を浪費し、他者のことや物を大切にしている心は失ってきた結果です。今日覚めなかつたら、人類存続のターニングポイントを越えてしまいます。

正しいこと、人としてのマナーや生き方を伝えてこなかった年配者や親の業<sup>ごう</sup>だと言えます。知らない者の罪ではなく、「伝えない者、教えない者の罪」であ

ります。

見て見ぬふり、知っていて伝えられない罪は大きい  
のです。最後、伝えなかつた業ごうの報むくいは、何倍に  
もなつて耐え難いものとして我が身に降り掛かっ  
て来ます。それが今日の抱える高齢化社会の寂  
しい独居老人、老老夫婦に起きている悲惨な事件  
の増加ではないでしょうか。

老後の終活がさかんに言われますが、ご先祖様  
あつての今日こんにち、周囲の皆様みなさまに支えられての人生、  
報恩の家は栄え、忘恩の家は亡びるといふ真理を  
しつかり子孫に伝えていくことこそ、本当の終活  
ではないでしょうか。身の回りの整理や小さなお  
葬式を遺言して子供たちに金銭的迷惑をかけない  
ことが親としての本当の役目なのではないでしょうか。

開祖さまは「平素から強い生活をして徳が



積めていけば、たとえ蓄えは少なくても、お葬式や初七日法要の費用ぐらいは、香典でまかなえる」と教えて下さいました。実践してあれば本当にそのとおりです。

派手な葬儀をする必要ありませんが、家族だけの小さなお葬式で、ご縁のあった人にも見送られず、生きてきた存在すらも残らないような寂しい人生の幕引きでは、何のための人生であったか解りません。

日暮れ腹減り、何という目的もなく毎日を何となく過ごす、消化試合のような人生は空しいものです。老いも若きも大いに考えましょう。

誰でも、あなたも、自分も死んだら先祖になるんです。いいご先祖になれる為に最後まで利他行の実践をして毎日を有意義に精一杯生き切りましょう！

### ◇大活躍の陰に利他がある

WBCが終わり、メジャーリーグでは大谷翔平選手、ダルビッシュ選手、吉田尚選手が大活躍をしています。彼らは天賦の才能と人並み以上の努力だけではなく、その実力に応じた陰の徳積み利他行の素晴らしい実践があるのです。

大谷選手は年間MVPに選ばれた賞金を闘病中の家族や子供を支援する非常



利団体「ミラクルズ・フォー・キッズ」に寄付したり、オールスターゲームのホームランダービー参加賞金十五万ドル（1650万円）を全額、球団トレーナーや陰で支えてくれる球団スタッフに寄付をするなど野球と慈善活動の二刀流です。メジャーリーグでは表彰された選手が賞金を慈善団体に寄付をする風習が伝統的に根付いています。素晴らしい文化です。

また、大谷選手がグラウンドでゴミ拾いをすることは有名ですが、これは高校野球時代に監督から「楽しいかどうかではなく、正しいかどうかで行動しなさい」と教え込まれたからです。やはり、親や指導者が教え子や子供に「教えるべきことは教え、伝えるべきことは伝える」ということの大切さの実例だと思います。



ダルビッシュ選手は、十歳ごろ父の出身地であるイランで地震があり、その父から自分の小遣いを送るように助言を受けたことが最初の寄付だったのです。

日本ハム時代には、水不足や水の汚染などに苦しむ発展途上国の人々に安全な水を提供することを目的に「ダルビッシュ有・水基金」を設立し、公式戦で勝利投手となるごとに十万円の寄付を続けています。昨年は難病、筋萎縮性側索硬化症（ALS）の研究機関に一万ドル（約百九万円）を寄付し、九月には北海道地震の義援金として一千万円を寄付しました。「人を助けたい。多くの人を。死や癌がんに限らず、何からも」とその思いを伝えていきます。

吉田正尚選手は、オリックス時代から公式戦でホームランを一本打つごとに十万円を「国境なき子どもたち」に寄付し、カンボジア、フィリピン、バングラデシュなどの開発途上国で貧困に苦しむ子どもたちへの支援をしています。

#### ◇世の中は洗面器の水と同じ

誰でも自分の幸せや成功を求めますが、幸せや成功の近道は、相手の幸せ、相手の利益を優先することです。ちょうど洗面器の水のように、自分の方、手

前に水をかき寄せると横から二つに分かれて出て行ってしまう。

反対に相手の方、向こう側に水を押し出せば、横から倍になって戻ってきます。これが真理です。例月供養や法要での先祖供養や念願成就の祈願供養は大切な徳積みですが「自分の幸せ」のための自利の徳積みです。

積尊や開祖さま教母さまのご命日に捧げる報恩感謝の徳積みや、いつでも救済募金の「つなぐよ子に」や被災地への復興支援募金はまさに利他の徳積みです。どうぞご協力ください。

人生最後は徳次第です。まわり道をせず本当の幸せになるために心掛けてやってみましょう。必要な時に必要なだけまわって来るのが積んだ徳であると教えられています。本当のことですよ！



## 日めくり解説①

☆44周年立教祭の記念品として贈呈した「日めくり」の解説を連載致します。毎日の明るい生活にお役立てください。

「目から鱗うろこが落ちる」とは、何かきつかけとなつて、迷いからさめ、急に事態がよく見えて理解できるようになるといふ宗教的目覚めのことです。

これはキリスト教の言葉です。キリスト教を迫害する立場にいたパウロが突然盲目になりましたが、イエスの教えによつて改心し洗礼を受けた際、「目から鱗（ウロコ）のようなものが落ち、見えなかつた目が見えるようになった」といふエピソードが由来です。

日々是好日  
一日一日心が成長する

目から鱗の  
日めくり



宗教法人 真生会

◆ご希望の方に頒価九〇〇円（送料別）で頒布致します。法事・開業・周年祝いなどの記念品にもご活用ください。総本山真生寺にお申し込みください。

1



「転んだら起きる、起きたらすぐ走る」は、教母さまがご遷化せんげされた時の開祖さまの決意のお言葉です。

人生は凸（でこ）凹（ぼこ）の連続、平坦へいたんではありません。大きな山につまづく人はいませんが、いつどこで小さな石につまづいて転ぶかもしれないせん。

だから誰でも転んだことは恥ずかしい事ではありません。自分で立ち上がるうとせず、いつまでも転んだままでいることが恥ずかしいのです。最初は同情してくれた人々も、心が離れていきます。立ち上がる勇氣を持ちましよう。走り出す決意を待ちましよう。きつと仏さまが後押しして下さいます。

※印は開祖さまの「田中偉仁」

# 今月の運勢（6月）

（2023年6月6日～7月7日）

## 一白水星

前半は周囲の人と親しみ助け合いコツコツと地道に基盤を作り、後半からは活動的に。様子を見ながら後から近づいてくる人は凶なので要注意。協力のタイミングが大切。

## 二黒土星

運気がゆっくり上がってくる。小さな芽を大切に育てて行くこと。壊れていたことが元に戻り、離れて行った人が戻って来る。また去る人もいるが問題はない。何事も積極的にな

## 三碧木星

運気は最高、積極的に行動する時だが油断は

禁物。想定外の苦難に

注意すること。思い付きではなく一貫性が大切。パートナーとは互いの長所を發揮し、自分らしさを保ちながら活動を続けること。

## 四緑木星

遠出や新しいことに手を出すことは控え、しっかりと心身を休めてエネルギーを蓄えること。周囲の人から見られていたことを忘れず、自分の行動を正しく保つようにする。

## 五黄土星

新規事業や新しいことを始める時ではない。今日まで積み上げてきたことを完成させよ

う。上位者の応援が得られるので、大いに力を借りてスピード感をもって進めること。

## 六白金星

収穫があり、人との出会いも増え楽しい月となる。難しい相手も柔軟に接すれば、うまくいく。互いが分相応の志を持ち、正しい道を保てば万一の異常事態も乗り越えられる。

## 七赤金星

何事を行うにも感動が大切。無私無心になつて行動する姿に人が感動して従ってくれる。邪念や先入観を捨てること。動機が正しければ、動かぬ山のような

問題も解決することが出来る。

## 八白土星

小事を行うには吉だが大事を行う時ではない。太陽に照らされてきらびやかに思えますが、表面的な華やかさです。秩序やルールに従って行動し、過大な期待はしないこと。

## 九紫火星

運気の谷間にいる。今一步の未完成の状態なので無理をするとすべてが破壊されるから注意すること。しかし、未完成には未来がある。諦めずに一筋の光明を目指して進めば願事は通る。

## しあわせ眼鏡

人生は  
ご先祖からの命の  
リレー  
今は自分が走って  
いる  
次は誰にバトンを  
渡すのが、ひっか  
り繋いで行こう！

お気軽にご連絡ご相談下さい

- |          |           |  |
|----------|-----------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地<br>TEL 058 - 235 - 7304       |
| 【岐阜教会】   | 〒500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19<br>TEL 058 - 262 - 9615      |
| 【大阪教会】   | 〒532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10<br>TEL 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】  | 〒454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10<br>TEL 052 - 351 - 3904  |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送り  
します。詳しくはお尋ねください。

2023年5月10日発行 第213(通巻318号)  
※誌代無料(浄財の献金により無料発行しています)